

即時リリース用

モロッコ地震後の青少年支援に役立てられている
ライオンズクラブ国際財団の交付金

（米国イリノイ州オークブルック 2023 年 10 月 20 日） - マグニチュード 6.8 の地震が 9 月にモロッコのマラケシュ・サフィ地域を襲いました。その規模は同国において 100 年以上で最大のもので、数十年間で最多の死者が出ました。数千人の方が亡くなり、いくつもの農村が崩壊しました。家屋だけでなく、学校、病院、その他の医療施設や教育施設も倒壊しました。

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）はすぐに、モロッコのライオンズに対して 10 万ドルの大災害援助交付金を拠出し、彼らが被災者への支援を提供できるようにしました。緊急事態のニーズが満たされた後、復学を支援する計画を立てたライオンズを支援するため、地域のさらなる調査が行われました。

国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）によれば、500 以上の学校と 50 以上の寄宿学校が倒壊し、およそ 40 の自治体で授業ができない状態となっています。LCIF 交付金は大きな被害に見舞われた 2 つの農村において、プレハブ教室とトイレを立てるのに用いられます。アミズミズの 12 の教室と 3 つのトイレ、そしてメジャットの 3 つの教室と 1 つのトイレなどです。

「今回の地震がもたらした惨状には本当に胸が痛みます。あらゆる年代の人たちに影響を及ぼしているのです」パティ・ヒル国際協会会長はこう話しています。「この交付金事業が地域の青少年にわずかでも救いをもたらすことができれば、と願っています。集まって互いを慰めあい、学びつづけることのできる場所を再建することによってです」

LCIF 大災害援助交付金は国際的に大きな影響をもたらす大災害が発生した際に、ライオンズクラブ国際協会の国際会長と LCIF 理事長の判断で承認されます。長期的な再建事業を意図したもので、大規模な自然災害に見舞われた地域社会を支援しています。

「災害が起きた際、ライオンズが真っ先に被害を受けた方々のニーズに対応しています」とブライアン・シーハン LCIF 理事長は語ります。「ライオンズは地域で生活し、活動しています。そして今回の悲劇の後にも地域社会を支援し、再建に関わりつづけていくことでしょう。LCIF は彼らの取り組みを支援できることを誇りに感じています」

ライオンズクラブ国際財団とは

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）は、思いやりの活動を拡大し近隣と世界で行われる奉仕に力を与える交付金を通じて、ライオンズクラブ国際協会の 140 万人の会員を支えています。1968 年の創設以来、LCIF は 2 万件以上、総額 12 億ドル余りの交付金を提供してきました。私たちは地域社会で、そして世界で、健康と福祉を改善し、コミュニティを強化し、困っている人に支援を提供しています。詳細と活動内容については lionsclubs.org/lcif から、LCIF への寄付は lionsclubs.org/donate からお願いいたします。

###